

三重縣公報（第三種郵便物認可）

三重縣公報 第三百三十四號

大正四年十二月二十一日

火曜日

○告示

●三重縣告示第三百八十五號
定置漁業ヲ免許シ免許漁業原簿ニ登録シタルモノ左ノ如シ

大正四年十二月二十一日

三重縣知事 馬淵銳太郎

免許 番 號	免許 年月日	漁業權者ノ 名稱及住所	漁場ノ位置	漁業ノ種 類及名稱	漁獲物 ノ種類	漁業時期	漁業權存 續期間
一、〇〇四	大正四年十二月十七日	南牟婁郡新鹿村遊木浦漁業組合	南牟婁郡新鹿村シシガ島東北海面	臺網類漁業	鮪類	自四月三十一日至八月三十一日	五箇年
一、〇〇五	大正四年十二月十七日	南牟婁郡北輪內村三木浦漁業組合	南牟婁郡北輪內村大字盛松浦ノリ島地先海面	臺網類漁業	鮪類	自十二月一日至翌年五月三十一日	二十箇年

●三重縣告示第三百八十六號
楠耕地整理組合（三重郡楠村）ニ對シ設計書變更ノ件大正四年十二月十八日認可セリ

大正四年十二月二十一日

三重縣知事 馬淵銳太郎

●三重縣告示第三百八十七號

左記ノ者頭書ノ日付ヲ以テ產婆名簿ニ登録セリ

大正四年十二月二十一日

三重縣知事 馬淵銳太郎

大正四年十二月十三日

津市大字津立町十六番屋敷平民

落合みな

明治十九年十一月十五日生

南牟婁郡本木町六百五十九番地平民

鈴木万幸

明治二十年四月二十六日生

宇治山田市大字河崎町百七十三番屋敷

福岡縣平民

大正四年十二月十七日

諫山かこ

明治二十四年一月二十八日生

●三重縣告示第三百八十八號

左記ノ者頭書ノ事故ニ因リ大正四年十二月十三日產婆名簿ノ登録ヲ訂正セリ

大正四年十二月二十一日

三重縣知事 馬淵銳太郎

宇治山田市大字櫻木町三十五番屋敷平民

產婆 大田ひさ

明治二十八年一月二十五日生

○通報

●農第五七七〇號ノ一

大正四年十二月二十一日 内務部長

各郡市長殿

各町村長殿

去ル十月十二日付農第五七七〇號ノ一ヲ以テ海
事水産博覽會出品勸誘方ニ關シ及照會置候處今
日ニ於テハ主催者當初ノ豫期以上ノ多數出品ア
ルヘキ見込確定候爲多數出品者ノ希望ニ副ヒ今
回左記甲號ノ通出品料金小間割等各等毎ニ金五
圓宛遞減シ尙出品分類目錄中左記乙號ノ通改正
シ魚肉以外ニ野菜獸肉等各種罐詰鮫ニ葡萄酒其
ノ他汎ク乗船者ノ使用ニ適スル飲食料品ヲモ出
陳シ廣ク世人ニ紹介シ其ノ販路ノ擴張ヲ圖ルヘ
キ趣ヲ以テ出品勸誘方特ニ依頼越候次第モ有之
候條貴部内當業者ヲシテ該項ニ相當スルモノ、

出品物ヲモ多數出品候様御勸誘相成度

右重ネテ照會ス

左記

(甲 號)

出品陳列一小間ニ付

一等 二 等
貳拾圓 拾五圓

箱外出品陳列場所一坪ニ付

二拾五圓 貳拾圓

(乙 號)

出品分類目錄改正

第七部「水産製造」ノ下ニ「及船用飲食品」ヲ加

「食品」ノ次ニ「飲料」ノ一項ヲ加フ

●衛收第一〇〇一八號ノ一

大正四年十二月二十一日 警察部長

各郡市長殿

各警察官署長殿

滋賀縣ニ於テハ獸疫豫防ニ關スル縣令左ノ通廢

止セリ
右通知ス

記

滋賀縣令第四十九號

大正三年十二月滋賀縣令第四十七號及大正三年一月滋賀縣令第五號第六號並大正四年十月滋賀縣令第四十三號狂犬病豫防ニ關スル件廢止ス
本令ハ發布ノ日ヨリ之ヲ施行ス
大正四年十二月十五日

滋賀縣知事 池松 時和

○彙報

●生徒募集 京都高等蠶業學校ニ於テ大正五年四月入學セシムヘキ本科第一學年生約二十五名募集ス

入學志願者ハ十二月八日ノ官報熟讀ノ上入學願書ニ履歷書、証明書、入學檢定手數料及寫眞ヲ添ヘ三月十日迄ニ同校ニ到着スル日取ヲ以テ差出スヘシ

●臺灣勸業共進會協賛會賣店、飲食店、休憩所、

興行場規程左記ノ通り通知越タリ

記

第一條 臺灣勸業共進會々場及附屬地ニ於テ賣店、飲食店、休憩所、興行場等ヲ開設セントスルモノハ大正四年十二月三十一日マテ別記樣式ニ依リ本會ニ申込ミ承認ヲ受クヘジ

第二條 賣店ハ本會ニ於テ一定ノ建物ヲ貸付ス但シ場合ニ依リ賣店ノ建設ヲ承認スルコトアルヘシ

第三條 賣店ノ貸付料並飲食店、休憩所、興行物等ノ敷地ノ使用料ハ左ノ如シ

- 等別 賣店 敷地
- 一等 一軒金參拾圓 一坪金壹圓
- 二等 同金七拾錢

使用料金ハ貸付契約締結ノ際全額ヲ納ムヘシ

第四條 建設物ハ開會十五日前ニ竣功セシメ閉會後二十日以内ニ取拂ヒ土地ヲ原形ニ復シ本會ノ檢査ヲ受クヘシ

第五條 不體裁又ハ危險ノ虞アル建設物ハ之カ取壊若クハ改造セシムルコトアルヘシ

第六條 建築材料ハ成ルヘク他ニ於テ切組ミタル上會場内ニ搬入シ組立ヲ爲スヘシ

第七條 作業時間ハ午前六時ヨリ午後六時迄トス但シ時間外ニ作業セントスルトキハ其ノ理由ヲ具シ本會ノ承認ヲ受クヘシ

前項但書ノ場合ニ於テ燈火ヲ使用セムトスルトキハ其ノ種類ニ付承認ヲ受クヘシ

第八條 工事中ハ本人又ハ其ノ代理人常ニ現場ニ在リテ職工及人夫等ノ監督ヲ爲スヘシ

第九條 建築工事ノ爲ノ焚火ヲ爲サムトスルトキハ防火方法ヲ具シ本會ノ承認ヲ受クヘシ

第十條 建築場ニ於テハ喫烟スルコトヲ得ス

第十一條 工事中ハ日々鉋屑其ノ他木屑ヲ取片付特ニ火ノ元ニ注意スヘシ

第十二條 建築工事ノ爲メ承認ヲ得タル敷地以外ノ土地ヲ使用スルノ必要アルトキハ豫メ其ノ旨届出ヘシ

第十三條 點燈ハ瓦斯電燈又ハ蠟燭ヲ用ヒタル提灯ノ外使用スルコトヲ得ス

第十四條 會場内ノ店舗又ハ興行物等ハ正門閉

鎖時限迄ニ之ヲ閉チ男子一名若クハ二名ヲシテ管守セシメ其ノ他ノ者ハ悉ク退場スヘシ

第十五條 店舗又ハ興行物等ヲ閉鎖スル際ハ特ニ火ノ元ニ注意スヘシ

第十六條 飲食品及飲食用器具類ノ洗滌消毒等衛生上ノ注意ヲ怠ルヘカラス

本會ハ前項ノ物品其ノ他ニ就キ檢査スルコトアルヘシ

第十七條 建設物ノ内外ハ清潔ニ洒掃シ塵芥汚水等ノ排除ヲナスヘシ

第十八條 大小便所ハ左記各號ニ依リ常ニ清潔ヲ保持スヘシ

- 一、防具方法ハデシンフエクトール一磅ヲ約一斗ノ水ニ混和シ如露又ハ適當ノ噴霧器ヲ以テ少クモ朝夕二回糞尿量ノ二十分ノ一以上ヲ壺中ニ撒布スルコト
- 二、消毒方法ハ大便所室内及出入口ノ戸ノ把握部分ニ二十倍ノ石炭酸水ヲ噴霧器ニテ撒布シ又ハ石炭酸水ニ浸シタル雜巾ヲ以テ清拭スルコト

三、糞尿ハ一日一回夜間ニ於テ汲取除臭方法ヲ行フコト

第十九條 建設物内ニハ必要ノ場所ニ唾壺ヲ備フヘシ唾壺ノ汚物ハ指定ノ場所ニ投棄シ其ノ都度生石灰ヲ投入スヘシ

第二十條 汚物ハ左記各號ニ依リ處分スヘシ
一、飲食ノ調理又ハ掃除ニ依リ生シタル廢棄物ハ塵埃箱ニ收容シ一日一回以上指定ノ場所ニ投棄スルコト

二、流シ下ノ汚水ハ地表ニ溢出セサル様陶管ヲ布設シ下水管ノ幹線ニ流下セシムルコト
三、流シ下ニハ網其ノ他適當ナル汚物受ヲ備フルコト

第二十一條 屋外裝飾又ハ建設物ノ設計ヲ變更スル場合ハ本會ノ承認ヲ受クヘシ

第二十二條 開設期間ハ臺灣勸業共進會開會當日ヨリ閉會當日マテトシ共進會開期中ハ廢業、休業スルコトヲ得ス但シ本會ノ承認ヲ得タルモノハ此ノ限ニアラス

第二十三條 販賣品ニハ正札ヲ附スヘシ但シ正

札ヲ附シ難キモノ及料金ヲ徵收スルモノニアリテハ店頭見易キ所ニ定價表ヲ掲クヘシ
前項ノ賣價及料金ハ豫メ本會ノ承認ヲ受ヘシ
第二十四條 賣店、飲食店ニ於テ販賣シタル品名、數量、金額及興行物ノ入場人員、料金ハ毎月曜日ニ其ノ前週分ヲ届出ツヘシ

第二十五條 營業者ハ本會ノ承認ヲ得スシテ其ノ權利ヲ他ニ譲リ渡シ又ハ第三者ニ自己ノ名義ヲ以テ其ノ營業ヲ爲サシムルコトヲ得ス

第二十六條 本規則又ハ本會ノ指示ニ違反シタルトキハ承認ヲ取消シ若クハ其ノ事業ヲ停止シ又ハ他人ヲシテ該建設物ヲ使用セシムルコトアルヘシ

前項ノ場合ニ於テハ既納ノ料金ハ之ヲ還付セス

第二十七條 前條第一項ノ承認ヲ取消シタルトキ又ハ規定ノ期間内ニ取拂ヲナサ、ルトキハ本會ニ於テ隨意ニ之ヲ處分シ之ニ要シタル費用ヲ徵收スヘシ

第二十八條 本規則施行其ノ他ノ事由ニ依リ建

設物、販賣品其ノ他營業者ノ使用物件ノ損害ニ對シテハ本會其ノ責ニ任セス

第二十九條 本規則ハ本會ニ於テ必要ト認ムル場合ハ之ヲ變更スルコトアルヘシ此ノ場合開設者ハ異議ヲ申立ツルコトヲ得ス

(様式略)

區別	虎列刺	腸チフス	バラチフス	赤痢	ペスト	痘瘡	猩紅熱	實布	發疹	計
新患者	一	一	一	一	一	一	一	一	一	二
死 者	一	一	一	一	一	一	一	一	一	二
現在者	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三
一月以患者	五	五	五	五	五	五	五	五	五	五
來累計死者	一七	一七	一七	一七	一七	一七	一七	一七	一七	一七

備考

一、本週ニ於テハ痘瘡及「ペスト」ノ發生ナク一般傳染病ノ患死者モ極メテ少數ニシテ衛生狀態頗ル良好ナリ

一、本週ノ各國共同居留地内ノ死者ハ外國人七名支那人百三十九名計百四十六名ニシテ前週ヨリ二十六名多シ而シテ日本人ノ死者ハ一名

●上清傳染病狀況 上海ニ於ケル本週自十一月二十二日中ノ傳染病狀況ニ關シ當省防疫事務囑託入倉榮暉ヨリ去月三十日附ヲ以テ左ノ通報告アリ
(大正四年十二月九日)
(內務省衛生局)

ナリ

●香港傳染病狀況 香港ニ於ケル本週自十一月二十一日中ノ傳染病狀況ニ關シ當省防疫事務囑託星合甚之助ヨリ去月三十日附ヲ以テ左ノ通報告アリ
(大正四年十二月十日)
(內務省衛生局)

區	別	虎列刺	ベスト	痘瘡	計
新	患	者	一	一	一
死	者	者	一	一	一
現	在	者	一	一	一
一月以	患	者	一二	一四三	三一
來累計	死者	一	二一三九	二八	一七九
備考					
一、本週ニ於ケル「ベスト」患者一名ハ支那人ニ					
シテ香港々内水上生活者ニ發生セリ其ノ他ウ					
イクトリア市内ニ實布埤利亞患者支那人一名					
「エンテリツク、フイーバー」患者日本人、英					
人、蘭人、支那人各一名發生シ同市外ニ實布					
埤利亞患者支那人一名「エンテリツク、フイー					
バー」患者印度人一名發生セリ					
一、自十一月十四日					
至十一月二十七日					
間ノ検査鼠數四、四四四					
頭ニシテ有鼠鼠一頭モナシ					

大正四年十二月二十一日印刷發行

三重縣廳

三重縣津市釜屋町廿一番屋敷